

「もう二度と、 〈坪枯れ〉の被害に 遭いたくない!」

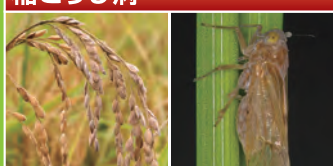
そんなあなたにオススメ!



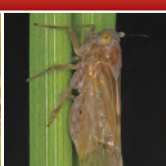
紋枯病



稻こうじ病



穂いもち



トビロウカ



(幼虫)

コブノメイガ



イネミスゾウムシ

ウンカによく効く!



【ピラキサルト™配合】

さらば、いもち病!



【トルプロカルブ配合】

+

ウンカといもちの悩み、 スッキリ解消! 紋枯病と稻こうじ病にも!!

側条施用
OK!

高密度
播種苗OK!

Pyraxalt™ active

powered by
RYNAXYPYR®
ACTIVE INGREDIENT

サンエース® 箱粒剤

水稲用 殺虫殺菌剤

サンエースは登録商標です
TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標です
※ピラキサルトは一般名トリフルメゾピリムの通称です
RYNAXYPYR®は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です

三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社

トルプロカルブ
特設ページは
こちら!



サンエース[®]箱粒剤

水稲用 殺虫殺菌剤

- 農林水産省登録：第24125号
- 有効成分：
クロラントラニプロール…0.75%
トリフルメゾピリム…0.75%
シメコナゾール…4.5%
トルプロカルブ…4.0%

- 性状：類白色細粒
- 人畜毒性(製剤)：普通物*

*「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

殺虫剤分類	28, 4E
殺菌剤分類	3, 16.3

サンエース箱粒剤の特長

いもち病に2つの作用性

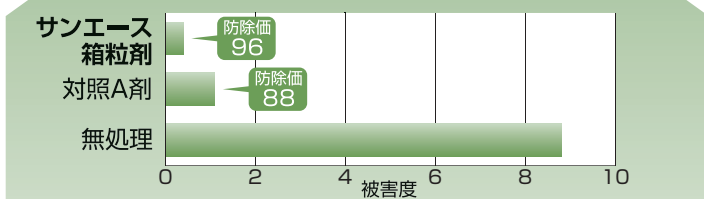
「メラニン生合成阻害 MBI-P」+「病害抵抗性誘導」
1成分で2つの作用機構を有する「トルプロカルブ」を配合！
新系統の効き目で、いもち病菌を強力にブロックします。

いもち病、紋枯病
稲こうじ病を同時防除！

ウンカ類をはじめ、
初期害虫やコブノメイガまで
長期間抑える！

紋枯病に対する効果

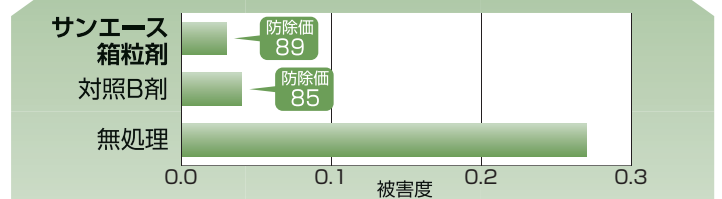
2015年 日本植物防疫協会 高知試験場



試験地:高知県香南市 発生状況:少発生 試験設計:1区54㎡(3.6×15m)、2連制 薬剤処理:4/15(移植当日)に50g/箱処理 調査方法:8/6(出穂31日)1区120株を対象に、井上式全体の被害度の調査法に準じて調査した。止葉から逆算して第4葉以上に病斑がある株を有病株として有病株率を算出した。この有病株の中から無作為に30株選び、下記の発病指数別に発病葉位ごとの茎数を調査した。 発病指数 0:どの葉鞘、葉身にも病斑がない健全茎 1:3葉あるいは4葉あるいは4葉の葉梢または葉身に病斑を形成した茎 2:次葉、3葉および4葉の各葉梢または葉身に病斑を形成した茎 3:止葉、次葉、3葉および4葉の各葉梢または葉身に病斑を形成した茎 発病株の被害度=Σ(発病指数別茎数×発病指数)×100÷(総調査茎数×3) 全体の被害度=(発病株の被害度×有病株率)÷100

稲こうじ病に対する効果

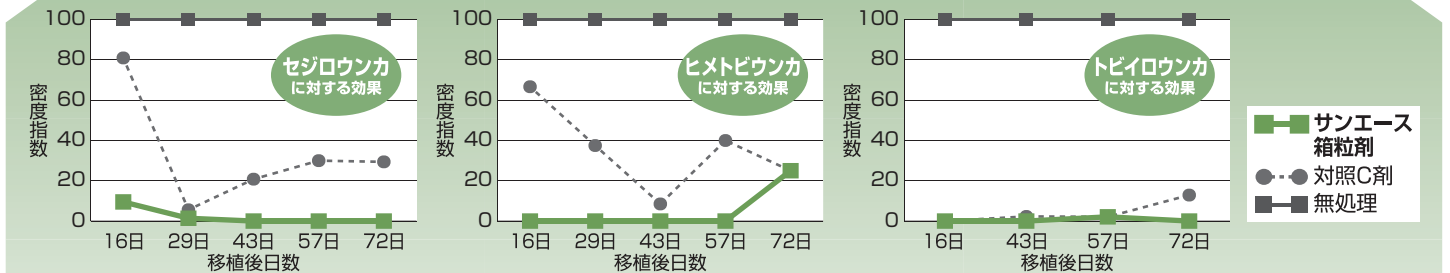
2016年 秋田県農業試験場



試験地:秋田県秋田市 発生状況:中発生 試験設計:1区78.1㎡(3.6×21.7m)、3連制 薬剤処理:5/13(移植当日)に50g/箱処理 対照剤は7/14(出穂16日前)に4kg/10a相当量を湛水散布 調査方法:9/5に各区100株について発病粉数を調査し、株あたり発病粉数を算出

ウンカ類に対する効果

2017年 日本植物防疫協会 宮崎試験場



試験地:宮崎県宮崎市 発生状況:セジロウンカ/中→少発生、ヒメトビウンカ/少→中発生、トビロウンカ/少→中発生 試験設計:1区114㎡(6×19m)、連制なし 薬剤処理:サンエース箱粒剤は6/23(移植3日前)、対照剤は6/26(移植当日)に50g/箱処理 調査方法:7/12(移植16日後)は各区100株に生息する虫数を水面への払い落とし法で幼虫、成虫別に調査。7/25(移植29日後)、8/8(移植43日後)、8/22(移植57日後)、9/6(移植72日後)は各区25株に生息する虫数を粘着板への払い落とし法で調査

適用病害虫と使用方法

2023年3月31日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
稲(箱育苗)	いもち病、紋枯病、稲こうじ病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病、内類褐変病、白葉枯病 イネドロオウムシ、イネミスゾウムシ ウンカ類、ツマグロヨコバイ コブノメイガ、ニカメイチュウ フタオビコヤガ、イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a [育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g]	移植3日前 ~移植当日	育苗箱の上から 均一に 散布する	本剤……………1回 クロラントラニプロール……………1回 トリフルメゾピリム……………1回 シメコナゾール……………2回以内 (移植時までの処理は1回以内) トルプロカルブ……………2回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での湛水散布、無人航空機散布、 投げ入れは合計1回以内)
	稲	いもち病、イネドロオウムシ イネミスゾウムシ、ウンカ類	1kg/10a	移植時	側条施用

*本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

△使用上の注意事項

- 本剤を育苗箱に処理する場合は、次の注意事項を守ってください。
- ①育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- ②薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。
- ③本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植してください。育苗箱に高密度には種した場合は、

- とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落とししてください。
- ④葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布してください。
- 本剤を移植時に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用い、側条施用してください。
- 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

本製品は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。本印刷物は2023年3月31日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋などはほ場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifolutions.com>

SAS1B011